

世界初、佐賀県武雄市で公認サンタクロースが「デジタルクリスマス会」を開催 ICT が繋ぐ海を越えたサンタクロースとの交流が実現、正しいクリスマスの過ごし方をレクチャー

株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中仁）は、武雄市図書館（住所：佐賀県武雄市武雄町大字武雄 5304-1）と共同で、12月9日（火）にグリーンランド公認サンタクロースをゲストに迎え、世界初のデジタルクリスマス会を実施しました。



日本の IT 社会を担っていく武雄市の子どもたちへ

佐賀県武雄市は、市内全 16 箇所の小中学校の生徒・児童全員（4,000 人）にタブレット端末を配布し、プログラミング教育にも力を入れている ICT（Information and Communication Technology / 情報通信技術）先進地域です。本会は、そんな日本の IT 社会の未来を担う武雄市の子どもたちに、さらに ICT の可能性や楽しさを体感してもらい、同時に、身近にある ICT とのより良い付き合い方として、デジタル機器から発せられるブルーライトから眼を守ることの大切さについて気づきを持ってもらうことを目的として開催されました。

海外サンタクロースとの交流が実現した世界初のデジタルクリスマス会

本会には日本で唯一の「グリーンランド国際サンタクロース協会」公認サンタクロースであるパラダイス山元サンタが登場。さらに、インターネットテレビ電話を活用し、同じく公認サンタクロースのアメリカ代表サンタもワシントン D.C. から特別出演。世界で初めて海を隔てた外国の公認サンタクロースとのリアルタイム交信を通じた「デジタルクリスマス会」が実現しました。

ICT で学ぶクリスマスの正しい過ごし方

当日は「HO～HO～HO～！（ホッホッホ～！）」という大きなかけ声でサンタクロースが登場。本物の公認サンタクロースに子どもたちは大興奮の様子で、「普段は何をしているの？」「どうやったらサンタクロースになれるの？」など普段は聞けないサンタさんの秘密をたくさん教えてもらいました。会の中では、サンタクロース公認アイウェアであるパソコン用メガネ「JINS PC」をかけ、タブレット端末を使ったクイズで「クリスマスの正しい過ごし方」を学んだり、サンタクロースに E メールの手紙を作りました。タブレットを使いこなす子どもたちの姿に「さすが武雄市の子どもたち！」とサンタさんも感心しきり。最後には、サンタさんからクリスマスギフトとして「JINS PC」が手渡され、しっかりと眼を守っていくことを約束しました。参加した親子は「デジタル通信を使って、海外のサンタと交信したり、送った手紙をその場で読んでもらえたり、とても楽しかったです。日本と海外 2 人のサンタさんから教わったクリスマスの過ごし方も実践してみたと思いました。」とサンタさんに会えた喜びと、クリスマスに向けての楽しみな気持ちを語ってくれました。

当リリースに関するお問合せ先

（株）ジェイアイエヌ 広報担当 渡辺・官野
TEL：03-5275-7401 / FAX：03-5275-7402 / Mail to： pr@jin-co.com

JINS PR 事務局<（株）サニーサイドアップ内> 担当 蜂須賀（080-4069-0740）、飯島、小林
TEL：03-6894-3200 / FAX：03-5413-3050 / Mail to： jins@ssu.co.jp

世界初、公認サンタクロースによる「デジタルクリスマス会」ダイジェスト

■ 海外公認サンタクロースとの交流

巨大モニターに登場したアメリカ代表サンタに子ども達は興味津々。登場前には山元サンタの提案で「JINS PC」をかけ、しっかり眼を守りながらお出迎えの準備をしました。



■ クイズで“クリスマスの正しい過ごし方”を学ぼう！

タブレットを使ったクイズ形式で“クリスマスの正しい過ごし方”について学びました。アメリカのサンタクロースがテレビ電話を通じて出題する全4問のクイズに、子どもたちが元気いっぱいに答えてくれました。



～クリスマス进行正しく過ごすための4つのポイント～

1.クリスマスは早く寝よう

実は日本の子どもたちは、世界の子どもたちと比べてかなり夜更かしの傾向にあります。子どもたちが夜更かしをしているとサンタクロースがなかなかプレゼントを渡せず困ってしまいます。



「JINS PC」がサンタクロース公認の理由

昨今、スマートフォンやゲーム機器などから発せられるブルーライトが睡眠の質を下げ、夜眠れなくなってしまう子どもが増えていると言われています。JINS PCは子どもたちが寝ているうちに、サンタクロースがプレゼントを無事に届けられるようブルーライトをカットし、子どもの安眠をサポートするアイテムとして2014年9月にサンタクロース会議で公認アイウェアに認定されました。



2.枕元にはミルクとクッキーを用意する

世界中の子どもたちにプレゼントを届けるサンタクロースの疲れを癒すために、枕元にはミルクとクッキーを用意します。

3.悪い子にはお仕置きがある…？！

ドイツでは、良い子にプレゼントを届ける赤いサンタクロースと、悪い子にお仕置きをする恐ろしい黒いサンタクロースがいます。ブラックサンタがこないように良い子でいましょう。

4.クリスマスのメインディッシュ

豚はサンタクロースの使いとしてプレゼントを運んでくる動物ともいわれています。海外では豚のローストを食べるのが一般的です。

■ サンタクロースに手紙を送ろう！

タブレット端末を使って、笑顔の子供たちの写真に、思い思いのデコレーションとサンタクロースへのメッセージを加えた手紙を制作し、アメリカのサンタクロースに送信しました。慣れた手つきでタブレットを操作する子どもたちに、山元サンタからは「さすが武雄市の子どもたちだね！」と驚きの声。アメリカのサンタクロースも個性豊かな手紙に大喜びでした。



■ サンタクロースからのひとし早いクリスマスギフト！

イベントの最後には、サンタクロースから参加した子どもたちにサプライズで“ギフト”が贈られました。子どもたち一人ひとりに安眠をサポートする「JINS PC」を手渡し。「このメガネをかけて、夜更かししないようにね」とクリスマスの過ごし方について約束を交わしました。本物のサンタクロースからのギフトに子どもたちも大喜びでした。



日本で唯一の公認サンタクロース！パラダイス山元サンタのコメント

「みんなすごいですねー！私にとっても海外と繋がるクリスマス会は初めてで、とっても意味のあるイベントだったと実感しています。子どもたちに“クリスマスの正しい過ごし方”を伝える活動をしているのですが、最近子どもたちの睡眠時間が少なくなっていると聞きました。こういった会をきっかけに、家族との団らんや絆を深める世界基準のクリスマスや、デジタル端末との正しい付き合い方について知ってもらい、未来を担う大人へ成長してもらえれば嬉しいです。」と優しい笑顔でコメント。“正しいクリスマス”について伝えることができ、大満足の様子でした。



参考情報

「グリーンランド国際サンタクロース協会」について

グリーンランドには、永遠の命を持つ長老サンタクロースが住んでいると言われていています。昔は1人で世界中の子どもたちにプレゼントを配っていましたが、それが徐々に難しくなってきたため1957年「グリーンランド国際サンタクロース協会」を設立。協会には長老サンタクロースから任命を受けた世界各国の公認サンタクロースが180名ほど所属し、手分けをして、クリスマスに家族と過ごせない子どもたちへプレゼントを届けたり“クリスマスの正しい過ごし方”を啓発するなど、さまざまな活動を行っています。ちなみにパラダイス山元サンタは、日本でたった一人の公認サンタクロースです。

「武雄市図書館・歴史資料館」について

佐賀県武雄市が条例に基づき設置を定めた複合施設。カルチャ・コンビニエンス・クラブが指定管理者を務め、従来の図書無料貸し出しに加えて、蔦屋書店の併設により、本の購入、CD・DVDの有料レンタルが可能です。また、館内にはカフェが併設され、コーヒーを飲みながら本を読むことができます。こうしたなど従来にない運営手法から、「新しい図書館のロールモデル」として全国的な注目を集めています。

